

野生動物から



暮らしをまもる

H26 11月 発行：志太榛原地域鳥獣害対策連絡会

野山のエサが少なくなる今、

徹底して飢えさせる

- 水田のヒコバエは、野生動物にとって最高の冬越し食糧！
- ダイコンやハクサイを収穫する時に出る外葉も、動物には栄養たっぷりのごちそう！
- みかんの収穫期です。出荷できない、傷んだ果実を山に捨てていませんか？

収穫が終わった田畑にエサを残していないかチェック！

ヒコバエは刈るか、埋めるか、枯らしましょう。
くず果捨て場は囲いの中に設けましょう。



そのエサの栄養で、来年たくさんのウリボウが生まれます。
一つでもエサを減らそう！

TOPICS

来年のイノシシを減らすカギ 秋～冬の対策



今、見直したい電気柵の使い方

～学習能力のあるイノシシを柵慣れさせないポイント～

- 収穫後、エサになる物がない畑からは電気柵を撤去しましょう。
- ロープなどの「**二セ電気柵**」は集落全体の電気柵の効果を減退させてしまいます。
- 設置している柵は **24 時間通電**で！
- **動物の足が地面に乗る場所**に設置していますか？
アスファルトやコンクリートの場所では効きません。

被害にあってしまったら…

- 有害鳥獣捕獲を依頼しましょう
お住まいの市町村の農林行政担当課に連絡します。
無防備なエサがある場所ではワナに入らないので、「エサをなくす」と「犯人を捕獲する」は同時進行で！
- 「被害面積 30 a、みかん収量の 20%の被害」などと被害の量を報告。あなたの被害報告が、次の対策の基礎になります。